

令和4年度 第9回

強度行動障害支援者養成研修講座

実践研修

募集要項

厚生労働省基準 愛知県知事指定



〒478-0047 知多市緑町 12-1
知多市市民活動センター 1階
TEL0562-33-1631 FAX0562-33-1743

学 則

- ア 研修事業者の名称、指定番号、所在地及び電話番号
特定非営利活動法人地域福祉サポートちた(愛障127号)
愛知県知多市緑町12-1 知多市市民活動センター1階 TEL:0562-33-1631
- イ 研修の種類 強度行動障害支援者養成研修実践研修
- ウ 研修の目的
基礎研修を修了した者で、強度行動障害を有する者に対し、適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的として行われるもの
- エ 研修の実施方法 対面
- オ 実施場所 講義・演習 メディアス体育館ちた 2階 大会議室(〒478-0047 愛知県知多市緑町5)
- カ 実習施設 なし
- キ 募集期間 2022年7月20日(水)～2022年8月22日(月)まで
- ク 研修実施日及び修業期間
実施日 2022年9月4日(日)、11日(日) 修業期間 2ヶ月以内
- ケ カリキュラム及び使用する教材
カリキュラム(別添1)、使用する教材・・・強度行動障害のある人の「暮らし」を支える
(特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク監修)中央法規出版
- コ 講師氏名及び担当科目
別添1の通り
- サ 研修修了の認定方法
講義 (全出席と感想レポートの提出)
演習 (全出席と感想レポートの提出)
上記の講義、演習をみたした者については、修了証書及び修了証明書(携帯用)を交付する。
- シ 免除科目 なし
- ス 受講資格 ①+②または①+③
① 強度行動障害支援者養成研修基礎研修修了者であること
② 知的障害者、精神障害者、障害児の直接支援業務に「3年以上」従事した者であり、かつ指導者の立場にある者
③ (行動援護ヘルパーとして従事予定の方)知的障害者、精神障害者、障害児の直接支援業務に「1年以上」従事した者

セ 受講定員

強度行動障害支援者養成研修実践研修 40名

ソ 受講手続

- ①受講申込書を郵送にて提出 提出期限(2022年8月22日(月)必着)
(電話・FAXでの受付は行っておりません。ご了承ください。)
- ②受講が可能になった方へ入金先をメールまたはFAXにてご連絡いたします。
- ③受講料の入金確認後、受講確定となります。

タ 授業料、実習費など受講者が負担すべき費用

授業料 20,900円(税込み)(テキストが必要な方は別途3,520円(税込み))

メールまたはFAXにて入金先をご連絡いたします。振込期限(2022年8月26日(金))までにご入金をお願いいたします。振込期限までに入金がない場合はキャンセルとさせていただきます。

※入金後のキャンセル料について

(1) 研修開始日の7日前まで	0%(但し、振込手数料はご負担いただきます。)
(2) 研修開始日の6日前から前々日まで	1,000円
(3) 研修開始日の前日	受講料の50%
(4) 研修開始日以降	受講料の100%

チ 研修欠席者に対する補講の方法及び補講に係わる費用などの取扱い

原則として補講は行わない。但し、やむを得ない事情と認めた場合はサポートちた主催で修業年限内に開催する講座で補講ができるものとする。

ツ 紛失・毀損した時点で、サポートちたへご連絡ください。賞状型修了証、カード型修了証それぞれ各1通につき、1,000円(税込み)の再発行手数料をいただきます。

テ 研修修了者名簿は、「特定非営利活動法人地域福祉サポートちた」において原本は管理され、その写しを、愛知県知事に提出される。

ト 研修の延期・中止等の不慮の事態における養成研修の継続及び苦情等に対する対応等

申込状況によっては不開講又は延期になる場合があり、不開講の場合は全額返金、延期の場合は、受講生の申し出によって受講料を全額返金するものとする。その際の振込手数料はサポートちたが負担する。この講座に対する苦情等は、特定非営利活動法人地域福祉サポートちたで対応いたします。

連絡先 TEL : 0562-33-1631 FAX : 0562-33-1743

E-mail : spchita@ams.odn.ne.jp

担当者 山森 英津子

営業時間 月～金 9:00～18:00

台風及び雪等による警報が発令されたる場合

7時に警報が出ている場合：午前の講義は中止

10時に警報解除された場合：午後の講義を開始

☆講座中止になった場合は、別日程で開催

日程	時間	科目名	科目番号	時間	講師氏名
令和4年9月4日(日)	9:10~	受付 オリエンテーション			事務局
	9:30~11:30	強度行動障害がある者へのチーム支援(講義)支援を組み立てるための基本	12111	2	神田健司 (NPO法人あい)
	休憩(10分)				
	11:40~12:40	強度行動障害がある者へのチーム支援(講義)組織的なアプローチ	12111	1	出口晋 (NPO法人ゆめじろう)
	12:40~13:10	強度行動障害と生活の組み立て(講義)チームによる支援の実際	12112	0.5	坂本ちひろ(NPO法人ゆめじろう)
	昼休憩(60分)				
	14:10~17:20	障害特性の理解とアセスメント(演習)休憩10分含む	12211	3	豊田和浩 (NPO法人ゆう) 神田健司 (NPO法人あい)
令和4年9月11日(日)	9:30~12:40	環境調整による強度行動障害の支援(演習)休憩10分含む	12212	3	土肥克也 (NPO法人PakaPaka) 靱山えり (一般社団法人NEWS)
	昼休憩(60分)				
	13:40~15:10	記録に基づく支援の評価(演習)	12213	1.5	林 大輔 (社福)大府福祉会 たくと大府)奥山善仁 (株)あいぼ)
	休憩(10分)				
	15:20~16:20	危機対応と虐待防止(演習)	12214	1	小濱 麻美(一般社団法人みずなぎ) 奥山善仁
	~16:30	まとめ 修了式		12	

1日目6.5時間 2日目5.5時間

講師一覧

別添様式3

講師氏名	現職、保有資格、実務経験	担当番号、担当科目名	
林 大輔	現職 (社福)大府福祉会たくと大府	12112	強度行動障害の生活の組み立て
	資格 社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員	12214	危機対応と虐待防止
	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)	12213	記録に基づく支援の評価
	経験 14年3か月		
(専任・兼任)			
出口 晋	現職 (特)ゆめじろう 理事長	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	資格 介護福祉士 介護支援専門員	12213	記録に基づく支援の評価
	相談支援専門員	12214	危機対応と虐待防止
	経験 28年7か月	12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
(専任・兼任)			
神田健司	現職 (特)あい	12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
	資格 ホームヘルパー2級	12211	障害特性の理解とアセスメント
	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	経験 11年5か月	12214	危機対応と虐待防止
(専任・兼任)			
豊田和浩	現職 (特)ゆう 理事長	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	資格 社会福祉主事ホームヘルパー2級	12213	記録に基づく支援の評価
	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)	12211	障害特性の理解とアセスメント
	経験 18年5か月		
(専任・兼任)			
土肥克也	現職 (特)PakaPaka 理事長	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	資格 社会福祉士 介護福祉士	12213	記録に基づく支援の評価
	経験 14年	12211	障害特性の理解とアセスメント
		12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
(専任・兼任)			
奥山善仁	現職 (株)あいぼ	12213	記録に基づく支援の評価
	生活介護サービス管理責任者	12214	危機対応と虐待防止
	放課後等デイサービス支援員		
	資格 精神保健福祉士、介護福祉士		
経験 15年			
(専任・兼任)			
坂本ちひろ	現職 知多南部相談支援センターゆめじろう	12112	強度行動障害の生活の組み立て
	相談支援専門員		
	資格 介護福祉士、社会福祉士		
	経験 17年		
(専任・兼任)			
小濱麻美	現職 (一社)みずなぎ	12214	危機対応と虐待防止
	(一社)ともに歩も一会		
	七音株式会社		
	資格 看護師、介護福祉士		
経験 11年1ヶ月			
(専任・兼任)			
榎山えり	現職 (一社)NEWS代表理事	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	管理者兼児童発達支援管理責任者		
	資格 強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)		
	経験 11年6ヶ月		
(専任・兼任)			

令和4年7月吉日

受講生の皆様へ

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた
担当：山森英津子

強度行動障害支援者養成研修講座（実践研修）課題提出について

このたびは強度行動障害支援者養成研修実践研修にお申込みいただきましてありがとうございます。実践研修においては、支援現場の経験をふまえて、障害のある人への支援内容を自ら組み立て、チームに指示を出す人たちを想定しています。強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）で学んだ内容を確認するため、下記の課題を提出していただきます。

記

○匿名化した障害児者の事例（1事例）を冰山モデルに落とし込み、受講申込書と一緒に提出してください。同事業所からの参加に関わらず、1人1事例提出してください。

※冰山モデルとは、障害のある人の課題となっている行動を冰山の一角として捉え、冰山の一角に注目するのではなく、その水面下の要因に着目して支援の方法を考えること。

○添付の冰山モデル記入例を参考に、白紙のワークシートをご使用ください。

以上

〈お問い合わせ先〉

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 担当 山森 英津子

〒478-0047 知多市緑町 12-1 TEL：0562-33-1631

FAX：0562-33-1743

ワークシート(冰山モデル)記入例

- 課題となっている行動を書きます。

例) 人を叩く

Aさんが「後で貸してあげる」とはさみを先に使ったら突然BさんがAさんを叩いた。

【本人の特性】

- 言葉で思いを表現することが難しい
- 相手の気持ちを察することが苦手
- 「あとで」のイメージができない
- 人の使っている物と相手の使っている物の区別が苦手
- 言葉より先に手が出てしまう

【環境・状況】

- 「あとで」について本人が理解できる形の提示がなかった
- 自分の使っているもの、友達の使っているものに区別のない環境

行動支援計画

- 「あとで」ではなく、支援者が具体的にいつになったら借りられるのかを目で見てわかる形で提示する。
- 自分の使っているもの、相手の使っているものの境界を明確にする。